



恋だより

鯉の宮坂・宮香本舗

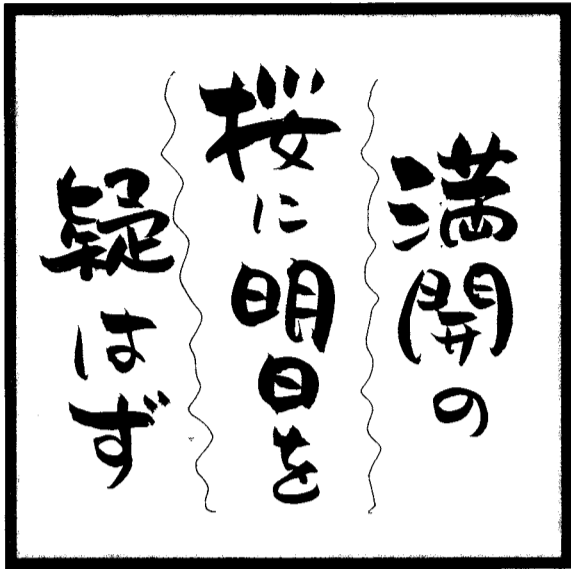
フリーダイヤル 0120-25-7188

fax 0238-21-2309

URL <http://www.koi-miyasaka.com>

■ 第38号 平成23年6月発行

■ 発行 鯉の宮坂・宮香本舗



この度の東日本大震災で被災した岩手県岩泉町で詠んだ句。津波をかぶりながらも花を咲かせる桜の姿に、復興を信じる気持ちを含めたという。彼女は「俳句でおなかは満たされないが、豊かに生きるために必要。言葉は生きる力になる」と話していた。福島県飯館村や宮城県、岩手県の避難所約10カ所を訪問、句集計約200冊を寄付した。

黛 まどか

俳人。1962年神奈川県湯河町に生まれる。本名円。主な著書に、句集『B面の夏』、『花ごころ』、『京都の恋』、『忘れ貝』。紀行集『ららら奥の細道』『星の旅人』。

アルカディアおきたま再発見シリーズ 第10回

東北復興

米沢八湯も一緒にがんばります!

温泉に泊まって復興応援!

…来なきゃ損! 衝撃の価格 2泊3日 絆の米沢八湯プラン…

「米沢八湯」とは、姥湯、大平、滑川、五色、新高湯、湯の沢、白布、小野川温泉という吾妻連峰のふもとにある、湯量たっぷり秘湯系の温泉群です。この八湯では、東日本大震災の影響から東北地域への観光客が激減するなど、経済的に厳しい局面に立っていることから、被災地への寄付、自然への感謝、地域のつながり、東北の復興を目的に、温泉宿全24軒の温泉が一緒になった取組を行うことにしました。



マイナスイオンたっぷりの落差50mの白布大滝

なせば成る 為さねば成らぬ何事も
成らぬは人の為さぬなりけり

この度の東日本大震災において、地震や津波、原発事故で被災された皆様には、謹んでお見舞い申し上げます。犠牲になられた方々とご遺族の皆様には、深い哀悼の意を表します。被災された方々には、約3ヶ月の避難生活で心身ともにお疲れのことと思います。ご心中を察するに余りあると存じます。早急にライフラインが回復し、原発事故も収束に向かい、皆様に再び安寧な生活が戻ることを祈るばかりです。

さて当地米沢は、奇跡的に停電もなく震災の直接被害は少なかったのですが、原発事故の風評などで、温泉旅館や観光物産店などの売上が昨年の半以下になるなど、観光産業が今まで経験したことのない間接被害で喘いでおります。これからサクランボのシーズンを迎えますが、山形は安全ですのでどうか皆様のお越しをお待ち申し上げます。

また当地米沢は震災の被害を免れたため、主に福島県の被災者の受け皿になっていました。米沢市体育館には、一時500名の被災者が床にダンボールを敷いての暮らしをなされていました。弊社でも4月の初旬に鯉こくや甘露煮を夕飯の炊き出しとして、提供させていただきましたが、涙を流されて喜んでくださった方もいらっしゃいました。翌日弊社に御礼と買い物にきてくださった方もあり、社員の多くも何か感じるものがあったようです。

それと我々の鯉料理の全国業界組織では、5月1日を「鯉の日」としております。今年は無事同業他社もありましたが、弊社では別掲の通り5月1日から3日間、予定通り「恋まつり」を行いました。大幅に来場者が減ると想定していたのですがなんと初日2日は、昨年を大幅に上回るお客

様にご来場いただきました。イベントでは被災された方々にもご案内を出し、弊社のカレーや鯉こくなどを振るまっておりましたが、喜んでいただけました。またこの「恋まつり」の売上の一部を弊社からではなく「タスクフーズ顧客一同」として、お客様からの善意の義援金とさせていただきます。我々としても出来ることは限られておりますがこれからも被災地や被災された方々の支援を続けて参りたいと思っています。

さてこの度被災された方々は、マスコミ報道でも分かる通り、これまで想像を絶する逆境の中で、必死に頑張っていました。今度は私たち被災を免れた者が頑張る時です。被災された方も含め我々の中には、これまで家族や友人と共に過ごし、育んだ愛や友情、ふるさとへの良き思い出がたくさんあると思います。その良き思い出が人を優しくするものだし、たとえどん底に落ちても、そこから立ち上がる勇気を与えてくれるものだと思います。

私たちはこれまで、第2次世界大戦や広島、長崎の被爆から立ち上がり、また関東大震災や先の阪神・淡路大震災など、いずれも絶望の底から再生、復興を果たしてきました。先人や祖父母に出来て我々に出来ない苦がありません。冒頭の名言「なせば成る 為さねば成らぬ何事も成らぬは人の為さぬなりけり」は、天明の大飢饉でも領内に一人の餓死者も出さず、破綻寸前だった藩の財政改革を成し遂げた米沢藩9代藩主の上杉鷹山の言葉です。私たちもかつて経験したことのない震災の被害や、原発事故の風評被害に喘いでいます。しかし我々東北人は力を合わせ愛と勇気をもって、鷹山の言葉を胸に必ず復興に向けて立ち上がります。これからも応援のほどよろしくお願い申し上げます。

代表取締役 宮坂 泉 拜

今回は、 真夏でもエアコンのいらぬ エコ避暑地 白布温泉

の紹介です

開湯700余年、標高約900X-トリの吾妻山に5軒の湯宿があります。古くから湯治場として愛されて、胃腸、慢性呼吸器、慢性皮膚病、リウマチ、痛風、神経疾患、おち打ち症の回復期には特に効果があるといわれています。秘境と噂するにふさわしい山懐の地で、真夏でもエアコン不要の避暑地となっています。周囲には、珍しい高山植物は勿論、ニホンカモシカなどの動物も多く生息し、世界でも珍しい白ザルの里としても名高い温泉郷です。

<お問い合わせ先>

東屋旅館:0238-55-2011(17,500円)

西屋旅館:0238-55-2480(17,500円)

吾妻屋旅館:0238-55-2031(17,500円)

中屋不動産:0238-55-2311(15,500円)

山の季:0238-55-2141(37,500円)

その他:米沢観光物産協会 0238-21-6226

バーバーダラケ 灼熱狂室@よねさわ

~この国は誰のもの~



ハーバード大の政治哲学の教授で、『これからの「正義」の話をしよう』の筆者であるマイケル・サンデル氏をご存知だろうか。哲学の本としては、全世界で異例の売れ行きを記録した。また彼は、講義の名手として知られており、担当している講義「Justice (正義)」は1万4000人を超える履修者を記録、あまりの人気ぶりにハーバード大では建学以来、初めて講義を一般公開することを決定。その様子はテレビ中継され、日本のNHKでも放映された。「Justice」の講義はソクラテス型の対話方式で進む。サンデル教授は壇上をぐるぐると歩き回りながら話をし、時々手を挙げた学生を当てて立たせ、学生と話し合うだけ。非常にシンプルなスタイルである。

この度、M.サンデル教授の友人の遠縁のお隣さんであるバーバーダラケ大学(どこにあるか分からん)教授のミッチェル・コンデル氏が受け持つ人気講義、「バーバーダラケ 灼熱狂室」を山形県のタスクフーズで行う。この模様を地元のケーブルテレビNCWで中継、それをネット公開することになった。

原発事故は天災か、人災か

コンデル「タスクフーズのみなさん こんにちは。M.コンデルです。先ずもってこの度の東日本大震災で被災された方々にによりお見舞い申し上げます。米沢は最小限の被害で済まれたということと安心致しました。さあ、これから皆さんと「正義」の話をしよう! とここでこの中に英語を話せる人がいるかな? 手を挙げて、ハイそのたらこのような唇をした君、名前は?」

コイトロー「イエス アロウベ、私はコイトローとってこの社長です。でも話せるフレーズは a little bit. How much? Can you give me a discount? の3つだけです。」

胸を張って答えたコイトローに、コンデルは失望にむく顔を曇らせたが話しを続けた。

コンデル「あなたが社長ですか、これは失礼しました。英語では無理なようなので、日本語で話しましょう。さて今回の震災では、地震や津波の被害の他に原子力発電所でチェルノブイリ級の大きな事故が起きてしまった。これは人智を超えた天災でしたか、なかったことなのか、それとも起こるべきして起こった人災なのか、皆さんはどう思うのか聞きたい。その魔女のような方、名前は?」

ハシモト「ハシモトです。私は天災でしょうか、なかったと思います。M9.0震源域数百キロというのは、未曾有の地震といってもよく、人災であるスリ-マイル島やチェルノブイリの事故とは違うと思います。」

コンデル「彼女と違う意見の方はいますか? ハイ、その小太りの女性」

周りで失笑が漏れたが立ち上がった女性に睨まれ、瞬間に涙を打ったように静かになった。

鬼嫁「コイトローの毒で鬼嫁といます。(^^)間違いない人災だと思います。理由は勘です! ウチの旦那が浮気しても、ブチョーが試作品を大量に破棄しても、だいたい勘で分かります。」

コンデル「おおそうですか、私の毒も同じ勘がスルドイです。では他に鬼嫁さんと同じ意見の方はいますか? その理由も付けて、その、私の頭と同じ方!」

ブチョー「ブチョーといます。好きでこんな頭になった訳ではありません。社長から新商品を作らされる度に薄くなってゆきます。今回の甚大な被害をあり得ないことと想定していなかった時点で人災。さらに廃炉をいやがり、アメリカの廃炉を前提とした処理案を蹴ったことでさらに深刻な状況になったのだと思います。プライドを捨てて、全米アメリカの各専門チーム主導で任せればここまで事態にはなっていなかったのではないのでしょうか? 放射能汚染で、また私の髪の毛が抜けければ、国と〇電を訴えてやります!」

コンデル「ブチョーさん悪かった。君と私は同志だ、これからは抜け毛と闘おう。ここに1冊の本がある。高山鳥哲夫という日本原子力研究員を経て作家になった人物で、2005年に「TSUNAMI-津波」(集英社)という防災サスペンス作品を書いている。内容は東海-東南海-南海の三つの海溝型地震が鎖のように絡み合い、高さ20mの大津波が発生。これによって名古屋、大阪などの大都市を飲み込み20万人以上の犠牲者を出し、さらに原発事故が起こるといふ、震源は三陸沖ではないが、まるで今回の東日本大震災を予言していた作品なのだ。」

また日本共産党の原子力の専門家が、2004年頃から国会で何回も今回の事を予見するような壊滅的な事故が起きると、取り返しのつかない惨事になると、耐震性や津波対策の強化を〇電や政府に強く要求していたようです。昨年の国会でも自然災害により原発のバックアップシステムが崩壊し、炉心溶融につながる可能性を指摘した。これに対し、〇電や経済産業省原子力安全 保安院の寺坂信昭院長は、そのような事態は実質的には起きないと答弁していた。これは日本ではなくアメリカの新聞が報道していたのだ。この事実に対して意見のある人は? ハイ、その頭に鳥の巣を乗せている大きい男性、君の名前は?」

ジャンボ「ジャンボです。頭は天然パーマです。実家は青森のハブですが、青森には東通原発も六ヶ所村の再処理工場もあります。地元住民は、原子力発電所は何が起きても絶対に壊れないって説明を信じていますが、これじゃ詐欺じゃないですか。先生、再処理工場の安全性はどうなっているのですか?」

コンデル「ジャンボさん、私は「そうだったのか! 学べるニュース」の池上彰氏じゃないし、哲学者だから詳しいことは分からない。でもこれだけは言える。国や電力会社および原子力発電所は、ウランに限られた資源だから、使用済ウランからプルトニウムを作り出すプルトニウムが必要だという。プルトニウム発電とは、ウランと低濃度のプルトニウムを混合したMOX(モックス)燃

料を、ウラン用の原子力発電所に使用しようとしているのだ。これは灯油用ストーブにガソリンが余ったから入れようというのと同じなんだよ。少くくはガソリンが混ざっても大丈夫だという論理で実施されようとしている。一般家庭では消防署が聞いたら火を噴いて怒りそうなことを、この国が認めているのだから驚きた。しかも現在まで2兆円を超える税金を使っている。このことについて意見あるかな? 君、お化粧をしているみたいだけど男性なのかな?」

NIMBYという言葉



セクスィーカズミ「私はカズミといます。ちよとメイクをしていますけど、男です。コンデル先生素敵です。私もこの地震大国の国土に55基もの原子力発電所があり、これからこの狭い国土のどこに使用済核燃料を貯蔵しようとしているのか不思議です。ジャンボの気持ちも分かります。東京や大企業のため、どうして田舎が犠牲にならなければならないのか理解できません。」

コンデル「カズミ、君はNIMBY(ニンビイ)という言葉を知ってるか? ニンビイとはNot In My Back Yardの略で「俺の裏庭には来ないでくれよ」という意味を持ち、「必要なのはわかるが、ウチの近所には、米軍基地、産廃処理場や火葬場など迷惑施設を作るのはカンベン」というものだ。日本語では「地域エゴ」とか「総論賛成各論反対」と言われたりすることが多く、あまりいいイメージを与えていないようだ。原子力発電所を作りたいのだが、地元住民が反対をする。電気の必要性はわかっているのに、自分の住んでいるところさえよければいいという...これがNIMBYだ。この一番の問題は、NIMBY症候群と称される人たちはほとんど過疎地で、「人口が少ないから影響が出る人間が少なくできる」といような理由で選ばれていることが多い。主に迷惑施設に多大に恩恵をあたっている人たちは何喰わぬ顔でいるばかりでなく、反対する地元住民に対して「これはNIMBYだ」「地域エゴだ」と言い放つ。逆に地元住民から言えば「都会に住んで無駄に電気を消費している連中が、都会には原発作るなという事をNIMBYだ」となってしまう。そしてこの問題の解決には、お金が使われる。利益を優先する企業や、またその企業と繋がっている政治家が、補償と称しておれで反対者の頬を叩いて言うことを聞かせたり、都合の良い法律を作り強制執行させてしまうのだ。」

セクスィーカズミ「コンデル先生素敵ですが、も本当にNIMBYを減らしたい場合は、節電を心がけたり、ゴミの量を減らしたりする条例を施行するなどの対処法を施すことも必要じゃないでしょうか? お金ですべて解決はできないと思います。」

コンデル「カズミ、君は良いところに気が付いた。本来人間は善なる者だ。譲り合いの精神があれば、戦争もNIMBYも起こらない。だが現実の社会は、持てるものと持たざるものの格差が広がってゆくばかりだ。このことについて意見のある者はいるかな?」

ジャンボ「先生の話やこれまでマスコミ報道を見ていると、原発問題はすべてが電力会社の利益優先主義による人災ですよ。でも原発に限らず日本の仕組みというシステムは、民主主義とは異なり、お金を持っている人間が優先されるようになってい



て、お金があれば、国会議員を政治献金などで買収し、思い通りにできることはなんとなく解ります。」

日本の本当の支配者とは

初め大人しかったタスクフーズのメンバーも段々と目がキラキラとしてヨンドレルの講義に引きずり込まれていくのが見えた。ヨンドレルは原発問題からこの国を支えているのは誰か、核心に話しを向けようとしていた。

ヨンドレル「ここで鬼嫁さんに聞く、本当に悪いのは電力会社や政府だけだろうか？誰か後ろに黒幕がいるとは考えられないだろうか……」

鬼嫁「その黒幕ってこの前まで60年間与党だった、あの自○党のことですか？」

ヨンドレル「いや、彼らは本当の主人公ではない。誰か分かる人いないかな？そのぼんぼんとした女性、名前は？」

ナミカタ「ナミカタです」
ヨンドレル「ナミカタさんだね」



ナミカタ「いえ、ナ・ミ・カ・タです」
ヨンドレル「わかった、マネカタさん、君は誰だと思っかね？」
ナミカタ「いえ、ナ・ミ・カ・タです。でもお〜あのお〜、ひめとして〜官僚さんたちですか？」

ヨンドレル「そうだ、この国は中央集権・官僚独裁国家といっても過言ではないだろう。この国の構図は官僚の福祉のために、国民が奉仕をするというものだ。彼らは中央省庁→特殊法人→自治体→大企業→労組と繋がって、お互いの利益を守るため、昼夜奔走しているようだ。(笑)中央省庁以下の組織体質も上に倣って官僚的になっている。では官僚とは、つまりキャリアについて知っている方いますか？ハイ、コイトローさん。」

コイトロー「キャリアは国家公務員I種試験に合格した各省庁の幹部及びその候補生のことですよ？年間600人くらい採用になっています。平均して1年400人採用したとして、60才定年で×38年でおおよそ1万5千人の現役官僚がいる訳ですね。ルーツは明治維新の官僚制度です。戦前の海軍とか陸軍の将校もこの官僚ですよ。でもこの人たちは、随分と自国の兵士を玉砕させ、文字通り駒のように扱って数え切れないくらい命を奪っています。また今でも怨恨や憎悪を受けているような、海外の侵攻先での一般人への虐殺行為も行っていましたね。」

ヨンドレル「そうだ彼らは、作戦に失敗して多くの犠牲を払うことになっても降格はないし、責任も回避し取らなかつた。アメリカでは考えられないことだ。でも戦後の復興は官僚の力もあったのは確かだ。軍官僚の「統帥権」に代わり、経済官僚が予算や税制をいじったり、許認可を司る「裁量権」を握って、殖産興業を目指す社会を作ったのだ。しかも彼らは法律に守られ、事業に失敗しても給与も下がらないし、絶対にクビにならない。裁判所とか検察も司法官僚で、彼らの特権は司法でも守られている。警察や自衛隊の幹部もみな同じだし、地方自治体にも現役の若手官僚が部課長として入り込み、にらみを

効かしている。私の言っていることが分かるか？その若かりをした女性！」

サッチ「ヨンドレル先生、バカ言っでねえ。オラは胸はないけど若い者には負けねぞ！でも官僚って皆ずる賢い奴ば、かしなのか？」

ヨンドレル「現在でも確かに優秀なキャリアも沢山いるだろうが、それ以上に国益を蔑ろにし、例えば国が滅ぼうとも省益や自分たち既得権を守ろうとする方が多すぎる。年金を食い潰した問題や特殊法人への天下り、特殊法人だけでは収まらず、許認可を握っている民間の企業の「渡り」まで平気で繰り返して、私腹を肥やしているようだ。彼らは税金を自分たちのためのものと信じている。皆さんたちは水戸黄門を知っているね。私もあの番組のファンなんだ。あの番組に出てくる家老や悪代官が官僚＝「お上」で、目こぼしを受けて領民を虐め、お金のために悪事や搾取を繰り返すのが、越後屋などの大店の商人これが一部の企業だ。この国の悲劇は今の時代に正義の使者、水戸黄門がいないことなのだ。皆さんの中でアリストテレスを知っている方、手を挙げて！」

アリストテレスの考え方



驚くことに30人中、20人以上の手が挙がった。ヨンドレルはちょっと驚きの表情を隠せなかった。入社36年目のサッチが上気した顔で静かに話し始めた。

サッチ「先生バカにしてねえが？プラトンの弟子で、古代ギリシャの哲学者だべ。オラたち本物のサンデル先生の本読んでるぞ。」

ヨンドレル「そうかそれは失礼した。それはアリストテレスの「目的論的論法」についても理解していると思う。物の正しい分画記方法を決めるには、分画記される物の目的を明らかにしなければならないという考え方だ。例えばストラディヴァリウスなどバイオリンやフルートの名器は誰の手に渡るべきなのか？その楽器を相続した音楽家が、それとも大富豪のコレクションになるのか？彼の考え方はこうだ。もっとも良い楽器がもっとも良い演奏者に与えられるべきで、その理由は、楽器は上手く演奏されるために存在するからなのだ。クマのプーさんにとっては、ミッパチの存在は、自分のためにハチミツを作るためのものなのだ。これが目的論的論法の好例だが、この国の官僚も税金は、自分たちがもっとも上手に使える。だからどんなに無駄に税金を使っても気にしない。元々自分たちのものだと考えているからなのだ。」

ナミカタ「でもお〜官僚さん全部が悪い人じゃないと思うしい〜、黄門様になつてくれる人がいればあ〜」



ヨンドレル「そうナミカタさん、人間の善、美徳を尊重すべき、これはアリストテレスの考え方なのだ。この官僚＝「お上」の暴走を止めるのが、本来は水戸黄門である政治家だったのだ。動物に例えれば政治家はネコで、官僚はネズミとも言える。しかし残念ながら現在は、ネコはネズミにエサをもらっているし、ネズミはネコを恐らない。では皆さんに聞く、この会社の社長はコイトローさんだ。でも本当に実権を握っていて一番偉い方は誰だ？」

参加者全員が目が鬼嫁に向いた。コイトローは耳を赤くしうつむいている。



ヨンドレル「地位的に高い者が偉いとは限らない。この国のプレジデントも無能なのに威張りちらしていると聞く。脱官僚を唱えて、いつの間にか官僚の飼いネコになっている。そして一度権力の味を味わうと、その気持ち良さに酔ってしまい、自分の本当の仕事がなんであるかを忘れてしまう。政治家が本来の役目を果たすためには、正義とは美徳であると言ったことを肝に銘じて勉強し直さなければならぬ。またそうした政治家を選ぶことが、私たちがこの国を官僚の手から奪還できる唯一の手段なのだ。朝鮮半島にある国は、たった父子2人の権力者が倒れれば民主化になる。だがこの国は、1万5千人を越える人間が支える権力機構が立ち上りだかっているのだ。しかし道は険しく困難な問題だがこの問題を先送りし、負の遺産だけを子孫に残してはいけぬ。」

タスクフーズの店舗から外まで響き渡るような拍手が鳴り止まない。最後にヨンドレルは締めくくった。

ヨンドレル「今日は、原発の是非からNIMBYという「総論賛成各論反対」、「地域エゴ」の問題に移り、そして最後はこの国の本当に権力者は誰なのか、どうすればこの国に本来あるべき未来が訪れるのかについて議論した。表面をなぞっただけだが、それでも難しかったと思う。本当の民主主義のあるべき姿や、為政者や官僚の道徳的な限界をどこに見るのか、これからますます問題になっていくだろう。でも問題を決して先送りしないで、答えを導き出そうという努力を続けて欲しい。哲学ではお腹は膨れにくいけど、生きるための道しるべを示してくれると思う。正義とは美徳、その美徳が豊かな人生を支えてくれるのではないだろうか。この度の震災で世界中の人々が、日本人の大多数が美徳を備えた国民だと感じた。東北の日本の復興は、美徳を尊重する日本国民の手で必ず成し遂げられると確信している。」

以上、鷹サンデル教授の講義でした。お断りしておきますが、もちろん本物のサンデル教授は、こんな講義をしていません。ロジックも出鱈目のまったくごち上げのフィクションですので悪しからず。本物のサンデル教授の講義が聴きたい方は、NHKからハーバード白熱教室講義録+東大特別授業(上)DVDが販売されています。先ずは感動・感銘必至のDVDを観てから、本をお読みになることをお勧めします。このコーナー続くかな？続く訳ないだろうなあ〜



本物のM.サンデル教授



どんなものを食べているか 言ってみたまえ、 君がどんな人であるかを 言い当ててみせよう

by B・A・サヴァラン
(フランスの法律家。「美味礼讃」の著者)

韓国うまうまグルメ編 その1 ~序章~

食文化には直球も変化球も 存在するということ



今回からは、以前からリクエストが多かった韓国グルメについて紹介したい。実は韓国の食べ物については、恋だより第14号(ちょうど6年前)に書いていた。しかしその内容は、「ポンテギ」という昔は鯉のエサにも使われていた蛾のさなぎの炒り煮や、口の中や食道で暴れまわる「サンナクチ」という活イダコのおどり喰い、そしてくさやを凌ぐ異臭の食べ物「ホンオフェ」など、いわゆるゲテモノと呼ばれる食品の紹介だったのだ。「ホンオフェ」とは、エイを常温で発酵させそれを刺身で食べるというものである。カマに詰められ自家発酵すると、まるで猫の尿を炎天下で温めたような強烈なアンモニア臭を放つこの「ホンオフェ」を食べると舌は痺れ、光化学スモッグに襲われたようになり、例外なく嘔吐が止まらず涙と鼻水まみれになってしまう。しかしこのホンオフェは、一度その味のとりこになってしまうと決して抜けられない、麻薬のような禁断の食べ物なのである。ちなみにマッコリとの相性は抜群である。かんばん東北、この東北出身の佐々木希嬢や鈴木京香嬢と共に嘔吐と嬌声と鼻水まみれになりながら一緒に「ホンオフェ」を食べてみたいというのが、目下の鯉太郎の夢なのである。

中国三千年の歴史も 凌駕してしまうということ



前述のように今までは韓国のゲテモノ系のグルメしか書いてこなかった。そこでこのシリーズから、韓国の飲食店で日常的に提供され、旅行者が気軽に食べられて、比較的安く、尚且つ美味しい料理をいくつか選んで、そこからうかがえる韓国の多彩な文化を紹介してみたい。次章からは、このエッセイを読んだ途端にソウルに行きたくなり、実際に口にした瞬間「旨い!」って思わず声に出してしまうものが登場する。しかもただ単に料理だけではなく、私がソウルの路地裏を彷徨って自分の足と舌で見つけ出したお奨めのお店も紹介したい。地元の人で溢れかえっているシクタン(食堂)は、例外なく安い、美味しい、汚いの3拍子が揃っている。

先ずは韓国というと、一般的にキムチやコチジャン、唐辛子を使った料理で辛いというイメージがある。確かに日本人が食したら、飛び上がって七転八倒するような料理もあるが、激辛料理はそれほど多くない。ベースは全く辛くなく、個人の好みで辛さを増して食べる料理も多いのだ。この国にも長い歴史に裏打ちされた独自の食文化が存在する。韓国の食文化もまさに食材と智慧から生まれた豊穡の世界の中にある。私自身、韓国料理の奥深さには、なにかという化学調味料に依存する中華料理など、足下にも及ばないと思っている。

ソウルでは、冷めた料理は ネコもまたぐということ



次に韓国料理の特徴であるが、大きく分けて6つある。第1には湿性文化である。食卓には様々なチゲ、スープなどの汁物が

多数上がるのだ。ご飯にもしっとりとした水気があり、このようなご飯を食べる国は、日本と韓国以外に少ないという。汁物が不可欠の食事内容が、食堂が大変多い韓国に弁当屋が少ない理由が、スプーンをよく使う理由もここにある。第2には温食文化であること。冷めても大きな問題とならない西洋料理と異なり、韓国料理は温めたばかりのものを食べることが多いのだ。湯気が熱々の白いご飯、ふっふっとなると煮立つ味噌チゲ。これが韓国人の頭から離れない食文化の原型である。第3には一器一食の文化を持っている。多くの国々が1つの器の中に数種の料理を盛るのに対し、韓国は1つの器に1種類のおかずを盛り付ける。ただしビビンパなどは例外である。だから韓国の伝統料理である韓定食の店で、観光客が30近い食器に盛られて料理を出されて驚くのはこのためだ。第4には発酵食を好む文化を持っている。これは肉類や野菜を長期間にわたって食べるための温帯文化特有の智慧だと言えるが、キムチ、唐辛子味噌のゴチジャンも韓国料理には欠かせない。第5に辛い味を好む。もともと菜食文化圏で発達した文化だが、韓国の場合にはニンニク、唐辛子がその味の源泉である。第6に安くボリュームがあるのが最大の特徴である。

<次号予告>

日本で韓国料理を食べようとすると、およそ韓国の4倍のお金が必要となる。本場の味とは掛け離れた料理が出てきます。しかし日本と韓国の所得が4倍の格差はないのです。要するに韓国は、食べることに真摯な国民性なので料理で必要以上儲けようとする食堂の経営者は少ないし、美味くても高い店は、客がその存在を許さないのです。ただし観光客は、要注意! 観光客で溢れる明洞の街の食堂や、ガイドがしつこく奨める食堂に行けば、間違いなくソウル市民の1.5~2倍の支払いは覚悟して下さいね。次号からは、いよいよ安い、旨いの韓国の絶品グルメが登場します!

クイズに答えて美味しいものをゲットしよう!

前回の答えは……

- ①(鯉のおなかを押すと白いものが出るとオス)でした。正解者は次の方々です。おめでとうございます。
- 埼玉県 近藤様 山梨県 中野様 茨城県 莊司様
- 東京都 中野様 千葉県 井桁様 埼玉県 本田様
- 埼玉県 遠藤様 米沢市 菱沼様 米沢市 酒井様

さて今回はうちのむぎから問題です。

「うちのむぎ」私の種類は何でしょう。

- ①アメリカンショートヘア
- ②チンチラ
- ③日本猫

見た事ないのに分からないですよ〜でも、今までのシリーズで

ヒントがきつとあった・かも。正解者の中から抽選で「宮坂の美味しいもの」をプレゼント。どしどしご応募くださいや〜。

うちのむぎ

むぎはとて小心配者にも〜「ポンポン」の音がするととらえず隠れます。そして物陰からのぞき込み、確かめます。一番怖いのは「うじき」うじきの間中しつこく太くして逃げ回ります。



鯉屋のニュース

5月1日は鯉の日 『春の恋まつり』 開催しました!

今年も1~3日の3日間、「春の恋まつり」を鯉の宮坂本店で開催しました。今年「未来に願いを…」をスローガンに子供たちが丈夫に育つよう明るい未来に願いを込めて開催されました。

今回の開催テーマの1つとして、「鯉の宮坂は被災された方々を応援する!」ということから、皆様からの善意として売上げの一部を義援金とさせていただきます。毎日楽しいイベントが盛りだくさん!! 地元米沢中央保育園の年長さんによる「キッズよさこい」や地元やまびこ園の園児による「わらべ唄メドレー」はとて可愛らしくて日々の疲れも吹っ飛びました。女性だけの毘よさ恋米沢チームによる「石狩ソラン」の元気な舞いには、観客も踊り出し、米沢



のビートルズ!?! 空/Qooによる生演奏には……。イベント期間中は、通常営業日ではお求めになれない3日限りの特別企画品が「目白押し!」今まで従業員も見たことがないような大きさのジャンボ鯉の甘煮(4Lサイズ!200A)、1日50個限定の鯉のハンバーガー(400A)は即売売の人気商品でした。自粛ムード漂っていた時期に開催できましたのも、御来場頂きましたお客様のおかげです。本当に皆様ありがとうございました。

ちなみに今年のチャレンジコーナー 「ジャンボ鯉の重さ・ウエスト当てクイズ」

の答えは……

重さ 7.1kg ウエスト 52cm

正解された方には、宮坂の美味しいものをお届けしました。